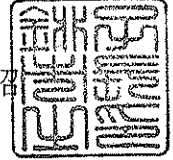




銚子第 33 号
平成 19 年 5 月 9 日

国土交通省道路局長 様

銚子市長 岡野俊昭



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号で依頼のあったこのことについては、
別紙のとおり回答します。

中期的な計画の作成にあたっての意見について

銚子市

○重点化を進める上で特に優先度の高い政策

・政策1:【広域的な交通基盤の整備による半島性からの脱却】

本市は、関東の最東端に位置し、三方を太平洋と利根川に囲まれた豊かな自然と一年を通して温暖な気候に恵まれた地域である。しかし、反面半島性という地理的条件のため、広域的に共有できる交通基盤の整備を最優先課題として、産業の発展及び交流人口の拡大を図る。

- ・広域的な産業(農・水・観光)発展のためのルートの確立
- ・高度医療施設等への早急・安全なアクセスを可能とする

※重点事業

- ①国道126号八木拡幅工事の促進
- ②国道356号バイパスⅡ期区間の早期完成
- ③半島周遊歩道の整備促進
- ④道整備交付金を活用した地域再生基盤の強化
(広域営農団地農道と市道の一体的な整備の早期完成)
- ⑤銚子大橋(国道124号)の架替え工事の早期完成

・政策2:【地域特性を活かした防災拠点と陸・海・空の連携した緊急輸送路】

本市では、首都圏の大消費地に近接する(約100km)という地理的条件を活かし、露地野菜を中心として水稻・畜産を合わせた複合的な農業が営まれている。特にキャベツや大根は国の指定産地として首都圏における生鮮野菜の供給基地としての重要な役割を担っている。水産業でも全国有数の水揚量を誇る銚子漁港が、良好な漁場環境によって支えられ、大規模な流通・加工機能を兼ね備えた総合漁業基地として、首都圏との交流拠点とした産業立地となっている。

また、銚子半島は地盤が強固(古銅輝石安山岩)で地震に強いという利点があり、これらの地域特性を生かし、首都圏の大規模地震等の災害時における食料の備蓄基地とした防災拠点の形成を推進し、緊急輸送路である幹線道路の整備促進を図ることにより、既設の施設である銚子漁港(船舶による輸送)、銚子マリーナ後背地(ヘリコプターによる輸送)を活用した、陸・海・空の連携した緊急輸送路の確保が可能となる。

※重点事業

- ①地域高規格道路(銚子連絡道路)の整備促進
- ②銚子大橋(国道124号)の架替え工事の早期完成
- ③道整備交付金を活用した地域再生基盤の強化
(広域営農団地農道と市道の一体的な整備の早期完成)

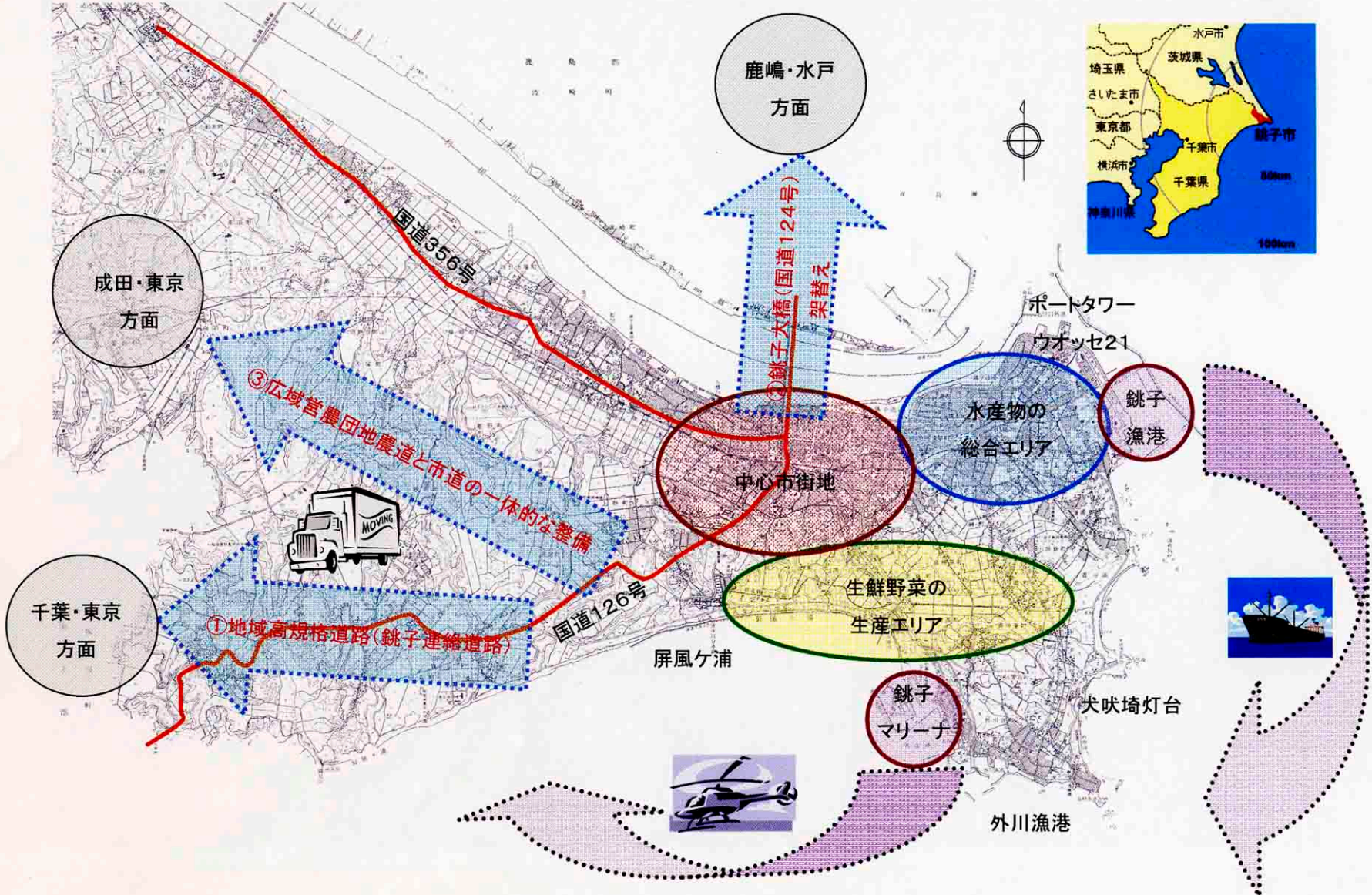
○効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- 1、道路の延命化に対処するため、常時道路の点検を行い早期補修に努め、継続した維持管理を図る。
- 2、契約方法の改善、新技術の開発、新たな技術を活用しいっそうのコスト削減に努めることが必要である。

○その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

- 1、幹線道路から生活に密着した道路をネットワーク整備し、地域間の連携・活性化、所要時間の短縮、交通渋滞の解消を図る道路整備の推進。
- 2、景観・文化的価値の創造として、道路利用者及び沿道住民のマナーが必要不可欠である。
- 3、自動車通勤等を抑制し、公共交通機関(電車・バス)の利用を積極的に推進した交通システムの改善の推進。
- 4、市内道路については、交通の円滑化、まちの美化・景観への配慮など、快適な居住環境の形成などに向け、質の高い整備の推進。
- 5、既存道路の維持・管理費用の助成制度。
- 6、地方の裁量性を高め、地域の課題を解決。

地域特性を活かした防災拠点と陸・海・空の連携した緊急輸送路



広域的な交通基盤の整備による半島性からの脱却

